



中央小で花植え

市立中央小学校の6年生約60人が6月14日、ハンギングバスケット160個に花を植え、市職員が駅前大通りに飾りました。

児童らはバスケットに土を入れ、ペゴニアとペチュニアを植えました＝写真。「毎日、植えた花を見るのが楽しみ」と話していました。

地域の人の協力で8年前から続いています。昨年は駅前大通りの開通を祝って280個を植え、ガードレールに飾りました。



環境大臣表彰を受賞

エコ仮面こと平田彰宏さん

6月13日、平田彰宏さん（桜木町）が市役所を訪れ、6月8日に環境大臣表彰を受賞したことを北川市長に報告しました。

平田さんは、「自然にかえる」からカエルをイメージしたエコ仮面に扮（ふん）し、長年、地域の環境美化に努めています。



「英語村」充実

一日をととして、英語だけで活動する「英語村」が市教育研修センターで開かれています。従来の小学校5年生に加え、今年度から6年生にも拡大しました。

5月24日は市立和光小学校の5

年生が参加＝写真左。外国人講師6人と英語のゲームなどを楽しみました。児童らは「英語って面白い」と笑顔を見せていました。

7月1日は、市立啓明小学校の6年生の活動に市立啓明幼稚園の



年長組が体験参加＝写真右。小学生が園児に教える役割を担いました。

中学生の英語村は希望者を対象に、水曜日の放課後に開かれています。



夏だ、プールだ

子どもたちの笑顔あふれる

7月初め、打上南町のたんぽぽ保育所でプール開きが行われ、園児らが元気よく水しぶきを上げていました。

プールは20人が楽に入れる大きさ。園児らは水着に着替えたあと、早速、プールへ。水を掛け合って楽しんでいました。



枚方信用金庫と包括連携

6月15日、市は枚方信用金庫と相互の知恵、情報、技術を共有し、地域経済の活性化および地域の持続的発展を図るため、包括連携協定を締結しました。

7月からは、子育てしやすい環境の整備、快適で暮らしやすい環境づくりに関する取り組みの連携を始めました。

今後も協定に基づき、これまで以上に協力・連携を図ります。



日本一の石臼

点野一丁目の石材店で、「日本一の石臼」と書かれた大きな石臼を見つけました。巨人でもなければ、とても挽(ひ)けません。

幹線水路のすぐそばで、高さは人の背丈ほど。「石で表現できないものはない」と、石の可能性を表すために制作しました。

以前、「寝屋川まつり」で展示され、大勢の子どもがソバを挽いたそうです。水路を散策する人も変わったモニュメントにびっくりです。



ねやがわパパコンテスト

6月19日、ねやがわパパコンテストがビバモール寝屋川店で開かれ、14組の家族が参加しました。

子育てクイズ、ふれあい遊びなどを行い、ふれあい遊びでは、子どもたちがお父さんと楽しそうに遊んでいました＝写真。

お父さんが日頃感じている家族や子どもへの感謝の気持ちを伝える「愛を伝えよう」では、思いの気持ちを伝えていました。



ソフトボール 全国大会出場

7月8日、市立第九中学校ソフトボール部15人が市役所を訪れ、8月12日から大阪市で行われる全日本中学生男女ソフトボール大会に出場することを北川市長に報告しました。

選手たちは笑顔で全国大会に向けての抱負などを語りました。

北川市長は「全国の舞台でもチーム一丸となって頑張ってください」と激励しました。



ギネスに挑戦 長寿金魚

佐々木郁子さん（成田東町）方の水槽で、32歳の長寿金魚＝写真＝が飼われています。ギネス記録は英国の43歳で、記録更新が期待されます。

金魚は体長約20cmで、小さな鯉ほど。佐々木さんの音楽教室の小学生が夜店の金魚すくいを取り、「飼えないから」と預けました。

金魚の一般家庭での平均寿命は2.8年で、長生きすれば10～12年とか。佐々木さんは毎日「元気？」と声をかけています。



夏野菜を収穫

大きいのたくさん採れたよ

7月11日、市立石津小学校の2年生63人が石津校区協働協議会の「協働の畑」でキュウリとナスの収穫を体験しました。

野菜収穫が初めての子どもが多く、「大きいの採れたよ」と目を輝かせていました。

収穫した野菜は翌日の小学校給食に使われ、「とてもおいしい」と大好評でした。



マーメイドジャパンを激励

6月9日、リオデジャネイロオリンピックに出場する、シンクロナイズドスイミングの日本代表チームを北川市長が訪問、花束を贈って激励しました。

大阪での合宿中、寝屋川市内に宿舎をかまえた代表チームは、オリンピック開幕を目前に控え、連日ハードな練習が続いていますが、みなさん笑顔で抱負を熱く語ってくれました。

井村ヘッドコーチは「みなさんの期待に応えるよう頑張ってきます」と話しました。

